

季刊 地域と農政を結ぶ

VOL.9
平成30年1月



いちご最盛期（静岡市）

CONTENTS

- 新年の御挨拶
- 平成30年度 農林水産予算概算決定の概要
- **特集 「農泊」 ～ 農山漁村の明日を見つけよう！ ～**
静岡の事例 農家民宿・体験型農園「ちやの生」（富士市）
- トピックス 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として県内3地区が選定されました
- 優良事例紹介 JAおおいがわ「農業経営者育成塾」
- 統計の部屋 「平成29年産水稻の市町村別作付面積及び収穫量」を公表しました

関東農政局静岡県拠点地方参事官室
農林水産省

新年の御挨拶

明けましておめでとうございます。

平成三十年の新春を迎え、静岡県の農林水産業に関わる関係機関の皆様におかれましては御健勝のこととお慶び申し上げますとともに、我が国農林水産業の一層の発展に向け、その取り巻く状況や対応についてお伝えし、新年の御挨拶とさせていただきます。

すでに皆様も御存じのことですが、農林水産業関係では、これまで、農業の競争力強化に向け、農業競争力強化法の成立、収入保険制度の導入、卸売市場の見直し、土地改良制度の見直し、生乳改革等様々な取組が行われ、また、国際的には、TPP11や日EU・EPA交渉に関し「総合的なTPP等関連政策大綱」の改訂が行われました。さらに、本年は、本年産米から新たな米政策の開始、林業、水産業の成長産業化に向けた取組を行うとの状況にあります。

米生産につきましては、引き続き需要に応じた生産を推進するため、きめ細かな情報提供や水田活用の交付金による支援を行うこととしておりますが、このように、農家の皆様が安心して生産を続けられるよう、農林漁業者の所得向上を始め、経営安定対策の充実に向け、平成29年度補正予算、平成30年度予算において、必要な措置を行うこととしております。

本年は、このようなこれまでの取組について、現場において関係者の皆様とともに実を結ぶような取組を進めることが必要となっております。

私どもとしましては、県内農林水産業の発展に貢献できるよう全職員一丸となって取り組んで参りたいと考えていますので、本年も関係者の皆様からの御協力を賜りますよう、引き続きお願い申し上げますとともに、当拠点の「地域と農政をつなぐ役割」の一層の発揮に向け、全力で取り組んで参りますので、皆様からの御指導・御鞭撻をいただきますようよろしくお願いいたします。



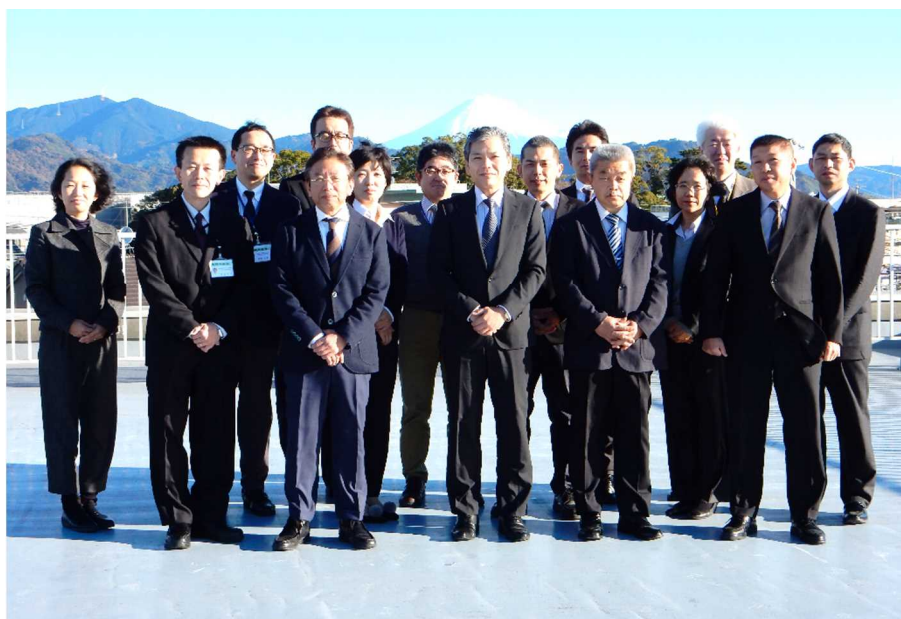
茶草で作られた犬のオブジェ

平成30年 1月

関東農政局 静岡県拠点



地方参事官 緒方 弘志



今年もよろしく願いいたします 地方参事官室スタッフ一同

平成30年度農林水産予算概算決定の概要

12月22日、平成30年度農林水産予算について概算決定がされました。
 予算総額は、2兆 3,021億円で平成29年度当初予算 2兆3,071億円を50億円下回ったものの、前年度並となっています。（対前年度比99.8%）

平成30年度農林水産関係予算の骨子

総括表

区 分	29 年 度 予 算 額	30 年 度 概算決定額 A	(29年度補正追加額)	
			補 正 額 B	A + B
	億円	億円	億円	億円
農林水産予算総額 (対前年度比)	23,071 —	23,021 99.8%	4,680 —	27,701 120.1%
1. 公共事業費 (対前年度比)	6,833 —	6,860 100.4%	2,229 —	9,089 133.0%
一般公共事業 (対前年度比)	6,641 —	6,667 100.4%	1,811 —	8,478 127.7%
災害復旧等事 (対前年度比)	193 —	193 100.0%	418 —	610 317.0%
2. 非公共事業費 (対前年度比)	16,238 —	16,161 99.5%	2,451 —	18,612 114.6%

公共事業費一覧

区 分	29 年 度 予 算 額	30 年 度 概算決定額 A	(29年度補正追加額)	
			補 正 額 B	A + B
	億円	億円	億円	億円
農業農村整備 (対前年度比)	3,084 —	3,211 104.1%	1,370 —	4,581 148.5%
林 野 公 共 (対前年度比)	1,800 —	1,800 100.0%	320 —	2,120 117.8%
治 山 (対前年度比)	597 —	597 100.0%	195 —	792 132.6%
森 林 整 備 (対前年度比)	1,203 —	1,203 100.0%	125 —	1,328 110.4%
水産基盤整備 (対前年度比)	700 —	700 100.0%	119 —	819 117.0%
海 岸 (対前年度比)	40 —	40 100.0%	2 —	42 105.0%
農山漁村地域 整備交付金 (対前年度比)	1,017 —	917 90.2%	— —	917 90.2%
一般公共事業費計 (対前年度比)	6,641 —	6,667 100.4%	1,811 —	8,478 127.7%
災 害 復 旧 等 (対前年度比)	193 —	193 100.0%	418 —	610 317.0%
公 共 事 業 費 計 (対前年度比)	6,833 —	6,860 100.4%	2,229 —	9,089 133.0%

- (注) 1. 金額は関係ベース。
 2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

平成30年度農林水産関係予算概算決定のポイント

平成30年度予算概算決定は、農林水産業の成長産業化と美しく活力のある農山漁村を実現するため、「農林水産業・地域の活力創造プラン」等に基づく農政改革を着実に実行する予算としました。



○ 担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進

- ・担い手への農地集積・集約化等を加速するため、農地中間管理機構の事業運営、農地の出し手に対する協力金の交付等を支援 **1 1 2 億円**
- ・地域の特性に応じた農地の大区画化や汎用化等の促進 **1, 1 1 0 億円**
- ・農地利用の最適化の推進のための農業委員会の積極的な活動を支援 **1 3 3 億円**
- ・次世代を担う人材を育成・確保するため、新規就農・雇用就農の促進を支援 **2 3 3 億円**（農業人材力強化総合支援事業）
- ・地域の中心経営体等に対し、農業用機械・施設等の導入を支援 **2 7 億円**（経営体育成支援事業）

○ 水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施

- ・水田活用の直接支払交付金（飼料用米、麦、大豆等戦略作物の本作化） **3, 3 0 4 億円**
- ・経営所得安定対策（収入減少影響緩和対策交付金、畑作物の直接支払交付金等） **2, 8 1 1 億円**
- ・収入保険制度の実施（保険料、積立金等の国庫負担分） **2 6 0 億円**

○ 強い農林水産業のための基盤づくり

- ・農地の大区画化、汎用化や水路のパイプライン化、老朽化した農業水利施設の長寿命化、耐震化対策や突発事故への対応等の推進を図るための農業農村整備事業 **3, 2 1 1 億円**
- ・林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するため、森林の管理経営を集積・集約化する地域に対し、間伐や路網整備、主伐後の再造林等を重点的に支援する森林整備事業 **1, 2 0 3 億円**
- ・地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援する農山漁村地域整備交付金 **9 1 7 億円**
- ・畜種ごとの特性に応じて畜産・酪農経営の安定を支援し、経営の継続・発展に取り組める環境整備を支援する畜産・酪農経営安定対策 **1, 8 6 4 億円**

○ 農林水産業の輸出力強化と農林水産物・食品の高付加価値化

- ・海外における日本産農林水産物・食品の販売促進活動を強化する戦略的プロモーションや輸出総合サポート、品目別団体等によるオールジャパンでの取組を支援 **3 6 億円**
- ・輸出促進に資する動植物検疫等の環境整備を支援 **1 0 億円**
- ・6次産業化に係る市場規模を拡大するとともに付加価値を農村地域に還元させるため、地域内に雇用を生み出す取組や施設整備を支援 **1 7 億円**

○ 食の安全・消費者の信頼確保

- ・ジャガイモシロシストセンチュウ、プラムポックスウイルス等の農作物の病虫害の侵入・まん延防止等の取組を支援 **2 0 億円**
- ・口蹄疫や鳥インフルエンザ等の家畜の伝染疾病の水際対策、家畜伝染病予防法に基づく発生予防・まん延防止等の取組を支援 **5 5 億円**

○ 農山漁村の活性化

- ・ 農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、地域における農業生産活動を支援（多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金） **772億円**
- ・ 「農泊」をビジネスとして実施できる体制の構築、古民家等を活用した滞在施設、農林漁業体験施設等の整備を一体的に支援 **57億円**
- ・ 鳥獣被害対策実施隊の増設・捕獲活動の実施、侵入防止 柵の設置等による鳥獣被害防止とともにビジネスとして持続できる安全で良質なジビエの提供を実現するため、捕獲から搬送・処理加工が繋がったモデル地区の整備を支援 **105億円**

○ 林業の成長産業化・森林資源の適切な管理

- ・ 森林の管理経営を集積・集約化する地域を重点に支援することとして路網整備・機械導入を集中的に実施するほか、主伐・再造林の一貫作業の推進など川上から川下までの取組を総合的に支援 **235億円**（林業成長産業化総合対策）
- ・ 林業への就業前の青年に対する給付金の給付や「緑の雇用」事業による人材の育成を支援 **49億円**（「緑の人づくり」総合支援対策）

○ 漁業の成長産業化と資源管理の高度化

- ・ 計画的に資源管理等に取り組む漁業者に対する共済・積立ぷらすを活用した収入安定対策、燃油や配合飼料の価格上昇に対するコスト対策等の実施分 **218億円**（漁業経営安定対策）
- ・ 各浜が持つ強みを最大限活用し、所得の向上を実現するため、多様なニーズに即した加工・流通体制の構築を支援 **164億円**（漁業の成長産業化）
- ・ 我が国周辺海域における水産資源の管理と操業秩序の維持のため、外国漁船の違法操業等に対する漁業取締体制等の維持・強化 **148億円**（外国漁船対策等）

平成29年度農林水産関係補正予算のポイント

○ 次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成

- ・ 先進的な農業経営の確立に意欲的な地域の担い手に対する必要な農業用機械・施設の導入を支援 **50億円**
- ・ 担い手への農地集積・集約化を加速化し、米の生産コストの大幅な削減等のため、農地の大区画化や排水対策、水管理の省力化等のための整備を推進 **350億円**

○ 国際競争力のある産地イノベーションの促進

- ・ 「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者等が取り組む高性能機械・施設の導入や集出荷施設等の再編、改植等による高収益作物・栽培体系への転換を支援 **447億円**（産地パワーアップ事業）

○ 畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進

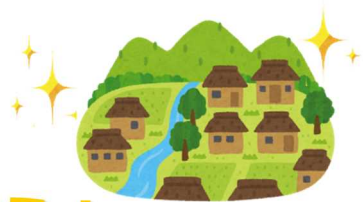
- ・ 畜産クラスター計画を策定した地域に対し、地域の収益性向上等に必要な機械導入や施設整備、施設整備と一体的な家畜導入等と支援 **575億円**（畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業）



特集

「農泊」

～ 農山漁村の明日を見つけよう！ ～



農泊 とは...

「農山漁村において日本ならではの伝統的な生活体験と農村地域の人々との交流を楽しみ、農家民宿、古民家を活用した宿泊施設など、多様な宿泊手段により旅行者にその土地の魅力を味わってもらう**農山漁村滞在型旅行**」のこと



(農泊のイメージ)

農泊に取り組むねらい

農山漁村の活性化

農泊を農山漁村の所得向上を実現する上での重要な柱として位置づけ、インバウンドを含む観光客を呼び込み、**農山漁村の活性化**を図ること

地域が一丸となって、
多様な関係者が
取組に関わることが
農山漁村の
活性化・所得向上に
つながります

地域が一丸
となった推進

農山漁村
の
所得向上

農山漁村
の
活性化

地元目線ではなく、
観光客目線による
ニーズの把握・
観光コンテンツの磨き上げが
農山漁村の
活性化・所得向上に
つながります

観光客目線

裾野が広い農泊の実施

観光客の誘客

観光客のニーズの把握
観光コンテンツの磨き上げ

トピック:「SAVOR JAPAN (農泊 食文化海外発信地域)」の創設



農林水産省は、地域の食とそれを生み出す農林水産業を核として、訪日外国人を中心とした観光客の誘致を図る地域の取組を「**SAVOR JAPAN (農泊 食文化海外発信地域)**」として認定する制度を平成28年度に創設しました。

☆ 県内の認定地域 ☆

「浜松・浜名湖地域」(浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進協議会)



ウナギやドーマン蟹など多彩な食材を活用した観光地域作りを推進

取り組み方を見直してみよう

	従来は…
地域の目標	「生きがいづくり」に重点
資金	公費依存
体制	任意協議会 (責任が不明)
受入組織機能	農家への宿泊の斡旋が中心

今後は…

	今後は…
地域の目標	持続可能な産業へ
資金	自立的な運営
体制	法人格を持った推進組織 (責任の明確化)
受入組織機能	外部目線を活かしたマーケティング に基づく多様なプログラム開発・販売・プロモーション・営業活動

めざす農山漁村のすがた



農山漁村の新しい明日に向かって

STEP 1

「地域での合意形成」を進め、現場で活躍する人材を育成しましょう！

STEP 2

- ・ 専門家の力を借りつつ、地域の魅力のストーリー作り、周遊ルート・体験プログラム・新商品を開発しましょう！
- ・ 耕作放棄地の解消、魅力ある農家住宅の創出を連携しつつ、古民家改修などどうつくしい場・空間を整備しましょう！

農泊関連予算の紹介

農山漁村振興交付金「農泊推進対策」

(H30年度予算概算決定額：5,655百万円)

支援は
コチラ



持続的なビジネスとしての「農泊」を推進することにより、農山漁村の所得向上を実現し、農山漁村の活性化を図ります。

農泊推進事業（ソフト対策）

○事業概要

農泊ビジネスの現場実施体制の構築及び地域資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げる取組や取組地域への専門人材の派遣等を支援

○事業実施主体

地域協議会、農業協同組合、NPO法人等

○事業期間

2年間

○交付率

定額

(1年目：上限800万円、2年目：上限400万円)



インバウンド受入れ体制構築



体験メニューの開発



地域食材のメニュー作り

施設整備事業（ハード対策）

○事業概要

古民家等を活用した滞在施設や農林漁業・農山漁村体験施設、活性化計画に基づき「農泊」に取り組む地域への集客力を高めるための農産物販売施設など、「農泊」を推進するために必要となる施設の整備を支援

○事業実施主体

市町村、地域協議会の中核となる法人等

○事業期間

2年間

○交付率

1/2

(活性化計画に基づく事業)

○事業実施主体

都道府県、市町村、農林漁業者の組織する団体等

○事業期間

原則3年間

○交付率

1/2等



古民家を活用した宿泊施設



農産物販売施設



海外のネットを活用した動画撮影

広域ネットワーク推進事業（拡充）

○事業概要

国内外の旅行者や旅行事業者等に個々の農泊地域の魅力を効果的に情報発信する取組や料理人と農泊地域とのマッチングなどを支援

○事業実施主体 民間企業、都道府県等 ○事業期間 1年間 ○交付率 定額

静岡の事例

農家民宿・6次産業化

富士山麓で農を楽しむ空間を提供

農家民宿・体験型農園「**ちやの生**」(富士市)

【取組の経緯】

◇平成20年、代表の豊田由美さんが富士市大淵地区の実家の畑を継いで就農。

「**ちやの生**」として、お茶やブルーベリーの栽培を開始。

◇「食と農をつなぐ」ことがしたいと自ら、食農体験イベントを開催。行政や地域の支援の輪も広がり、体験型農園にも取り組む。

◇平成22年、食と農をつなげる「茶畑レストラン」オープン。

◇平成25年、農家民宿オープン。季節に応じた多彩な体験メニューを提供。

◇平成27年、富士市内で初となる農業を中心とした障害者就労支援事業を行う「**スマイルベリーファーム**」を開業。農福連携にも取り組む。

【取組の特徴】

◇農家民宿は、ゆったり過ごしてもらいたいとの思いから、1日1組限定。ブルーベリー狩りや茶畑かけっこ、ほうじ茶作り、うどん作りなど多彩な体験メニューを提供。

◇体験メニューや定期的に行っているイベントなどについてSNSやブログで積極的に情報を発信。

◇6次産業化の取組として、お茶の葉を使用したパスタ用ソースを開発・販売するほか、民宿やレストランの食事にも使用している。また、ブルーベリーやラズベリーを使った商品の開発にも取り組んでいる。



【取組の成果とこれから】

◇富士山麓という立地を生かした農業体験が好評で、国内外から多くの人々が訪れ、リピーターも多い。

◇メディアからの取材も多く、台湾で紹介されたことから、台湾を中心とした海外からの観光客が増えている。

☆「**BIO HOTEL®**」のような環境にやさしい循環型の農家民宿をめざしたい。

☆農家民宿の管理をスマイルベリーファームにまかせるなど障害者就労支援事業の幅を広げていきたい。

事業者名：**ちやの生**

住所：富士市大淵11253

電話：0545-35-0247

<http://www.chanoki-fuji.com/>

※レストラン、民宿は完全予約制



ちやの生

検索

トピックス

「ディスカバー農山漁村の宝」として県内3地区が選定されました

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

このたび、第4回選定に県内3地区が選定されたので、取組地区と受賞者のコメントをご紹介します。

全国選定

いとう漁業協同組合 富戸支所ダイビングサービス (伊東市)

取組の概要

- 登録漁船27隻の小さな漁村でダイビングサービスを開始
- アオリイカの増殖とダイバー誘客のため、産卵床を設置
- 漁師が海鮮BBQで朝獲れ魚をふるまい、ダイバーと交流
- 親子連れや修学旅行生など都市部からシュノーケリング体験も受け入れ



ダイビング担当
秋元 有貴 様

今後も伊豆の美しい自然を守りながら、観光客の受け入れを積極的に行っていきたいと思います。

成 果

- 漁業と観光業の両立で漁業外所得が工場、地域も活性化
- アオリイカ産卵時期のダイビング客は、年間約9,000人から約11,000人に増加
- シュノーケリング体験者は、約400人から約1,100人に増加
- ダイビングショップの経営者等の8割が都市からの移住者



関東農政局選定

農事組合法人 伊豆月ヶ瀬梅組合 (伊豆市)

「目指せ 梅一杯 夢一杯の 梅の里」

キャッチフレーズ「夢語り 実現しよう 梅の里」をアピールし、できるだけ多くの方に「伊豆月ヶ瀬梅林」を知ってもらえるよう、がんばっていきます。



組合長 内田 隆幸 様

内浦漁業協同組合 (沼津市) 「つなぐ人と想い 浜の女性の 「アジ」届けます」

今後、もっと多くの方に内浦に来ていただき、養殖アジが広がって、漁師さんが元気になるよう、がんばりたいと思います。



いけすや店長 土屋 真美 様

平成29年度「豊かなむらづくり全国表彰事業」

【農林水産大臣賞】

「NPO法人 かわね来風」 (川根本町)

「この町に住み続けるために今私たちができること
～4世代が幸せに暮らせる町にしたい」



事務局長 浜谷 友子 様

主な取組の内容

- ◇ 農産物の出荷代行・ブランド化
- ◇ 特産品の販売・女性活躍の場の提供
- ◇ 農家民宿・農業体験の推進 など

川根モデルが全国に広がるよう、発信していきたいです。

そのほかの表彰事業 受賞者・受賞商品のご紹介

フード・アクション・ニッポン アワード2017

【“今一番食べて欲しい、おいしい日本の逸品” 10商品】
(株式会社紀ノ國屋選定)



「OIL SABADINES® 駿河燐鯖

オリジナル味・ナチュラル味・ガーリック味」

有限会社かねはち (沼津市)

第8回農林水産省料理人顕彰制度「料理人マスタース」

【ブロンズ賞】

なるせ

「志村 剛生」様 板前てんぷら 成生 (静岡市葵区)



一人一人と向き合い、農業経営の質を高める JAおおいがわ「農業経営者育成塾」 （志太・榛原地区）



【取組の経緯と概要】

◇JAおおいがわが主催する「農業経営者育成塾」は、若手農業者を対象に、農業経営全般の質を高める取組として、平成26年度に始まる。

29年度の塾生は8名。昨年度までの卒業生は26名。

◇7月から12月までの期間中、経営コンサルタント等による講義（年4回）、先進事例の現地視察、講師を交えた個人面談（前・後期の2回）を実施。

◇塾生には農協職員が担当者としてパートナーとなり、日頃の農業経営に関する相談にも対応。

【組織の概要】

JAおおいがわ「農業経営者育成塾」

取組開始時期：平成26年

担当部署：営農部 組合員相談課

<http://ooigawa.ja-shizuoka.or.jp/>

【取組の特徴】

●面談では、営農の現状把握を行い、問題点の改善と将来的な目標の達成に向けた経営方針（ビジョン）を策定する。生産、商品化・販売、交流、労務・財務といった項目ごとに「目標」を立て、「やるべきこと」を明確化する。

●10年後の家族の年齢構成（親や子の労働力）から、期待する収入額や雇用の必要性などを明確化し、将来の耕作規模、売上目標などを設定。

●策定した経営方針を元に、目標を達成するための「実行計画表」を作成、12月の最終講座で塾生と担当者が発表し、他の塾生やJA職員、講師と意見交換を行う。



【取組の成果】

○塾生・卒業生からは「経営について学習できた」、「同じような課題を抱えた同業者とのつながりが出来る」など、高い評価を得ている。

○農協の職員にも、知識や技能の習得を通じて農業者との一体感が生まれ、能力向上への意欲が高まる効果があり、農協内部でも農業経営者育成塾の取組に対する評価は高い。

統計の部屋

「平成29年産水稻の市町村別作付面積及び収穫量」を公表しました

関東農政局では、平成29年12月、管内10都県の「平成29年産水稻の市町村別作付面積及び収穫量」を公表しました。

ここでは、12月15日に公表した静岡県の市町別結果について紹介します。

なお、その他都県の市町村別統計結果や利用上の注意については、関東農政局のWebサイト (http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) をご覧ください。

平成29年産水稻の市町村別作付面積及び収穫量

区 分			作付面積 (子実用)	10 a 当たり収量	収 穫 量 (子実用)
			ha	kg	t
全	国		1,465,000	534	7,822,000
静	岡	県	15,700	515	80,900
東	部		7,590	507	38,500
西	部		8,150	523	42,600
静	岡	市	367	504	1,850
浜	松	市	2,040	538	11,000
沼	津	市	357	520	1,860
熱	海	市	-	-	-
三	島	市	198	545	1,080
富	士	宮 市	636	478	3,040
伊	東	市	13	469	61
島	田	市	520	518	2,690
富	士	市	571	485	2,770
磐	田	市	1,760	515	9,050
焼	津	市	923	521	4,810
掛	川	市	1,420	521	7,420
藤	枝	市	720	520	3,740
御	殿	場 市	834	478	3,990
袋	井	市	1,310	511	6,690
下	田	市	47	489	230
裾	野	市	139	517	719
湖	西	市	234	545	1,280
伊	豆	市	409	485	1,980
御	前	崎 市	283	522	1,480
菊	川	市	726	524	3,800
伊	豆	の 国 市	363	547	1,990
牧	之	原 市	505	532	2,690
東	伊	豆 町	x	x	x
河	津	町	7	471	33
南	伊	豆 町	38	500	190
松	崎	町	62	500	310
西	伊	豆 町	5	480	24
函	南	町	172	529	910
清	水	町	46	528	243
長	泉	町	34	529	180
小	山	町	362	479	1,730
吉	田	町	257	533	1,370
川	根	本 町	9	489	44
森		町	378	503	1,900

注：1 全国値については、一部収穫を終えていない地域があり概数値である。

2 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

冬の一枚 ❄️



「水かけ菜」(小山町)
富士山の湧水を利用して栽培されています。

関東農政局 静岡県拠点

〒420-8618 静岡市葵区東草深町7番18号

TEL 054-246-6121 FAX 054-246-6226

【地方参事官室】		054-246-6121
【経営所得安定対策チーム】		054-246-6121
【食料産業チーム】		054-246-6121
【統計チーム】	(経営・構造)	054-246-0612
	(生産流通)	054-246-6123
【消費・安全チーム】	(食品表示)	054-246-6959
	(米穀流通)	054-246-6125
	(農畜産安全)	054-246-6125

